

殿山第二小だより

令和 3年 7月2日 第13号

枚方市立殿山第二小学校

TEL:050-7102-9044

校内算数科研究授業 4年1組

単元名： 小数のしくみ

めあて： 小数の大きさの比べ方を考えよう。

学校（教職員）では、校内研究授業のテーマを決め、授業を通して、授業力・指導力の向上を図ることに努めています。今年度の研究教科は「算数科」としながら、全ての教科指導の中で、次の2点の能力向上をめざしています。

- ① 児童が主体的に活動できていたか。また、児童が主体的な学習活動を行うために、教師の働きかけ（発問・板書・掲示・表現などなど）は、適切であったか。
- ② 授業をとおして、児童の表現力が高まってきているか。（課題に対する取り組み姿勢・発言内容や説明の仕方・ノートやタブレットを活用してのまとめ方や考え方などなど）



「小数」の学習は、第3学年で $\frac{1}{10}$ の位までの小数について、その表し方や大きさの比べ方、計算の仕方を考え、小数を日常生活に生かすことを学習してきました。第4学年では、数の範囲を拡張させ、 $\frac{1}{100}$ 、 $\frac{1}{1000}$ の位までの小数について学習をすすめていきます。

本時の「小数の大きさを比べる」課題を解決するために、既習の整数や $\frac{1}{10}$ の位までの小数を基に、**児童自らが類推**し考え方を発展させていけるようにすることが授業の大きなポイントとなります。

また、小数の意味や仕組み、加法・減法の意味や計算の仕組みを考える際には、具体物、面積図や数直線などの図、言葉、式などの**数学的表現**を用いて考えたり説明したりする活動を重視していくことも大切にしているところです。



当日には、梅花女子大学 子ども教育学科 教授 藤田 佳久先生^{ふじた よしひさ}に
来校いただき、授業後の研究協議会で、様々にご助言・ご指導をいただきました。

教師も主体的に授業に臨むということ意識して、4つのグループに分かれて、授業を参観して、よかったところ・改善点・質問、疑問点などを話し合い、発表しました。



自分の受け持つ学年だったら、学級だったら、子どもたちにどのような働きかけができるだろうか。殿山第二小学校の算数科指導を系統立てて進めていくためにどのようにしていくか。と一人ひとりの教職員が「自分事」として考える貴重な時間を過ごすことができたと思います。

